

# 決算説明資料

2024年度第1四半期決算概況

2024年8月2日



### **(注意事項)**

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2024年度第1四半期決算

2024年度 第1四半期 サマリー	4
事業環境	5
連結業績概要（対前年同期）	6
セグメント別売上収益	7
セグメント別コア営業損益	8
コア営業損益分析（セグメント別）	9
連結財政状態計算書	14
政策保有株式 削減状況	15
連結キャッシュ・フロー	16
2024年度第1四半期 業績概要	17

## （参考資料）

セグメント別売上収益（四半期推移）	19
セグメント別コア営業損益（四半期推移）	20
売上収益分析（セグメント別）	21
主要グループ会社業績動向	24
地域別農薬売上収益	25

# 2024年度第1四半期決算

## コア営業利益

(単位：億円)

23年度1Q	24年度1Q
△536	<b>57</b>

## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(単位：億円)

23年度1Q	24年度1Q
△332	<b>244</b>

- コア営業利益は、6四半期ぶりの黒字回復
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、7四半期ぶりの黒字回復
- セグメント別コア営業利益は、全セグメントで前年同期比増益
- ペトロ・ラービグの大幅赤字（1Q当社持分 △137百万ドル 約△200億円）込みで黒字達成
- 情報電子化学は、過去最高益を更新（1Q 185億円）
- 住友ファーマは、前年同期比で販管費、研究費を280億円削減








**2024年度業績のV字回復に向けて 1Qは順調なスタート**

## 経済情勢

- インフレ率の低下等を背景に、世界経済は底堅く安定的に推移するも、依然として低成長の見通し
- 為替の円安進行により、輸出や海外事業における採算は改善

## 主要事業環境

前回      今回

石化・原料市況	 → 	一部を除き、引き続き石化市況の低マージンは継続
自動車	 → 	1Qは自動車生産台数減少
ディスプレイ	 → 	モバイル関連部材が堅調
半導体	 → 	半導体需要は緩やかな回復傾向。年後半の本格的な回復に期待
農薬	 → 	1Qは非需要期。海外農薬の流通在庫は解消方向
メチオニン	 → 	メチオニン市況は上昇
医薬品	 → 	基幹3製品は計画に対して強含みの進捗

# 連結業績概要（対前年同期実績）

単位：億円

	23年度1Q	24年度1Q	増減	増減率
売上収益	5,631	<b>6,121</b>	490	8.7%
コア営業利益（△は損失）	△536	<b>57</b>	593	-
（うち持分法による投資損益）	(△120)	<b>(△174)</b>	(△53)	-
非経常項目	△181	<b>58</b>	240	-
（うち固定資産売却益）	(7)	<b>(101)</b>	(94)	-
（うち事業構造改善費用）	(△193)	<b>(△35)</b>	(158)	-
（その他）	(4)	<b>(△8)</b>	(△12)	-
営業利益（△は損失）	△717	<b>115</b>	832	-
金融損益	219	<b>260</b>	41	-
（うち為替差損益※デリバティブ損益含む）	(238)	<b>(290)</b>	(53)	-
税引前四半期利益（△は損失）	△499	<b>375</b>	873	-
法人所得税費用	△13	<b>△36</b>	△23	-
四半期利益（△は損失）	△512	<b>339</b>	851	-
非支配持分損益	180	<b>△95</b>	△275	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	△332	<b>244</b>	575	-
ROE	△2.8%	<b>2.5%</b>		
平均為替レート（円/USD）	137.49	<b>155.85</b>		
ナフサ価格（円/KL）	67,500	<b>79,000</b>		
海外売上比率	65.8%	<b>69.2%</b>		

# セグメント別売上収益

単位:億円

	23年度1Q	24年度1Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	1,924	<b>2,019</b>	95	5.0%	65	△101	131
エネルギー・機能材料	734	<b>680</b>	△54	△7.4%	△5	△68	19
情報電子化学	945	<b>1,115</b>	170	18.0%	△5	88	87
健康・農業関連事業	1,027	<b>1,133</b>	106	10.3%	10	8	88
医薬品	830	<b>979</b>	149	18.0%	△15	92	72
その他	173	<b>196</b>	23	13.3%	0	23	0
合計	5,631	<b>6,121</b>	490	8.7%	50	43	397

## 増減分析 (全社計)



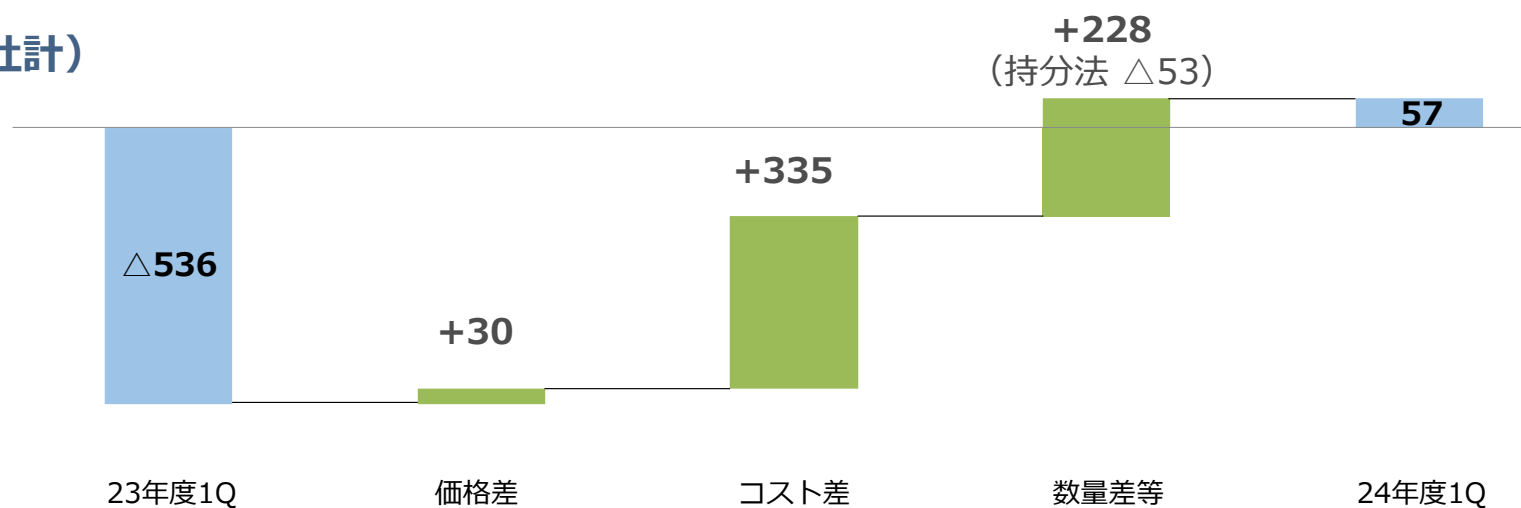


# セグメント別コア営業損益

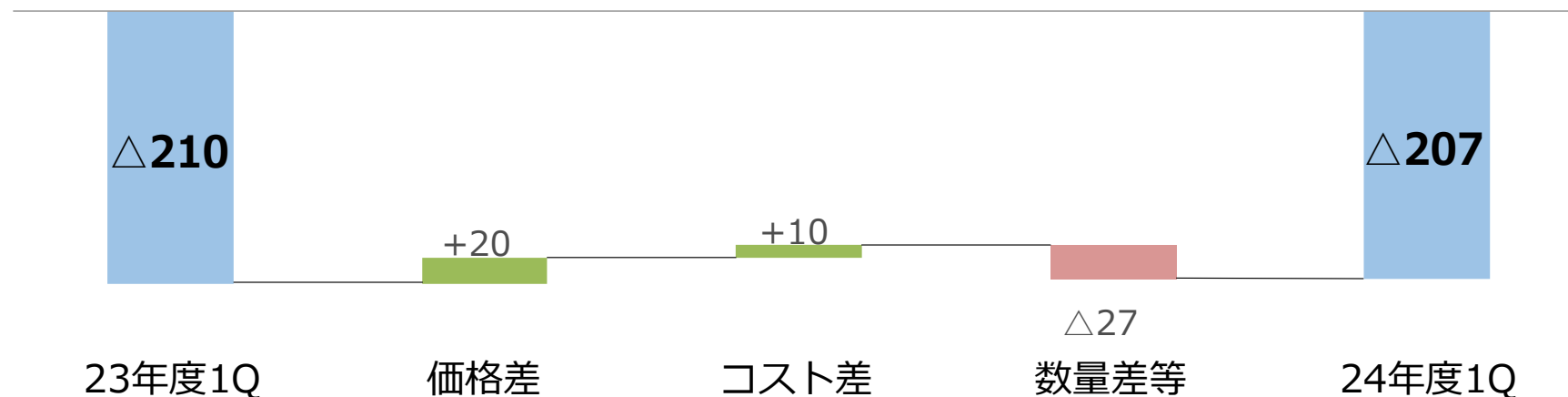
単位:億円

	23年度1Q	24年度1Q	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	△210	△207	3	20	10	△27
エネルギー・機能材料	30	37	7	5	10	△8
情報電子化学	67	185	119	△5	△15	139
健康・農業関連事業	△70	50	120	25	5	90
医薬品	△333	△5	327	△15	325	17
その他 全社費用等	△19	△3	16	0	0	16
合計	△536	57	593	30	335	228

## 増減分析 (全社計)



24年度第1四半期コア営業損益  $\Delta 207$ 億円 (前年同期比+3億円)



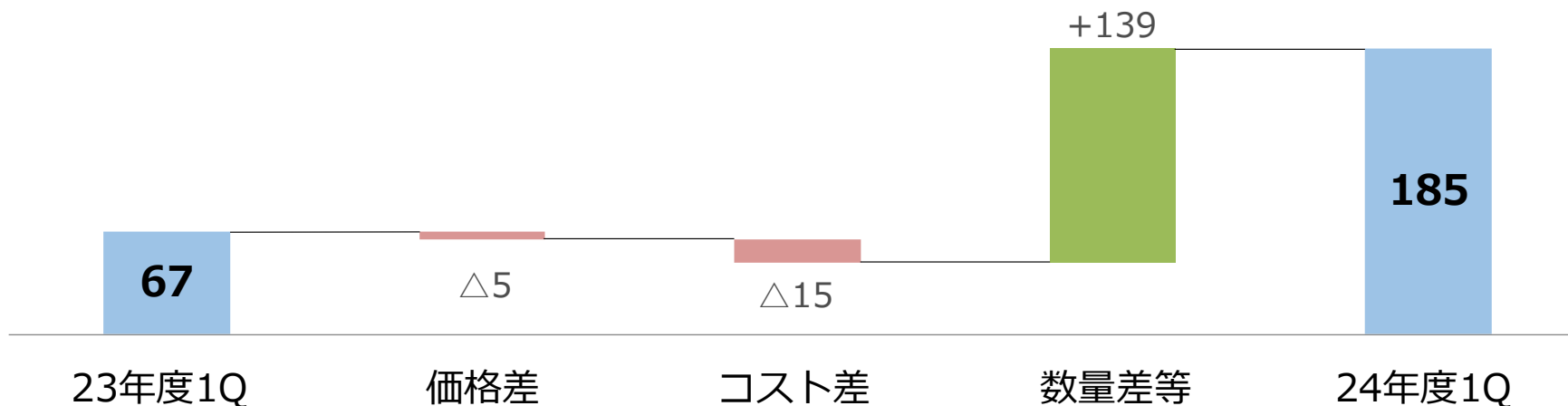
価格差	MMA等の製品市況上昇に伴い、交易条件が改善
コスト差	償却費負担の軽減等
数量差等	主にペトロ・ラービグ社の持分法損益悪化

24年度第1四半期コア営業損益 37億円 (前年同期比+7億円)



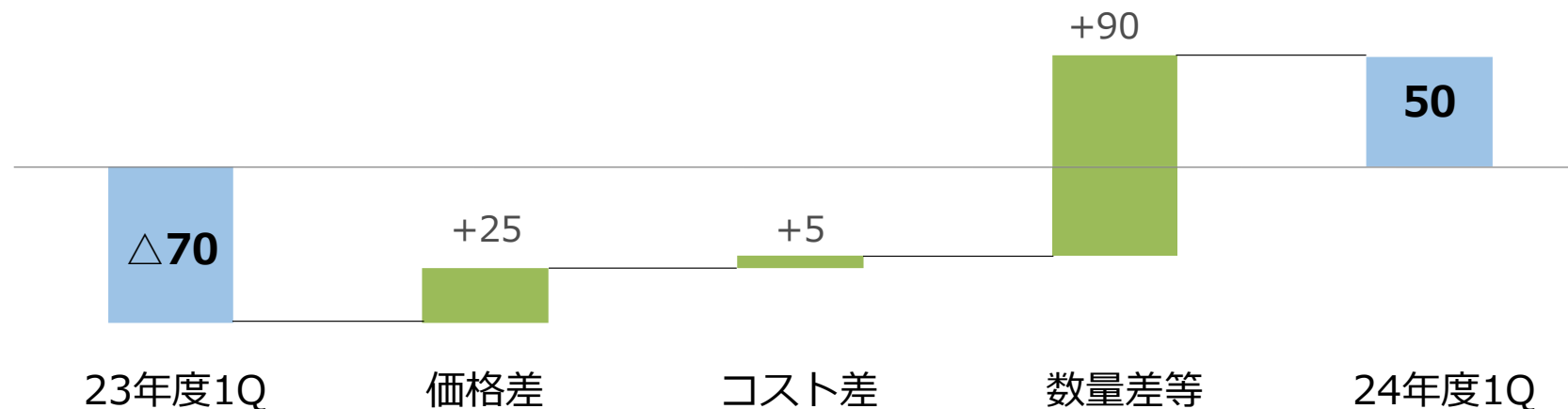
コスト差	償却費負担の軽減等
------	-----------

24年度第1四半期コア営業損益 185億円 (前年同期比+119億円)



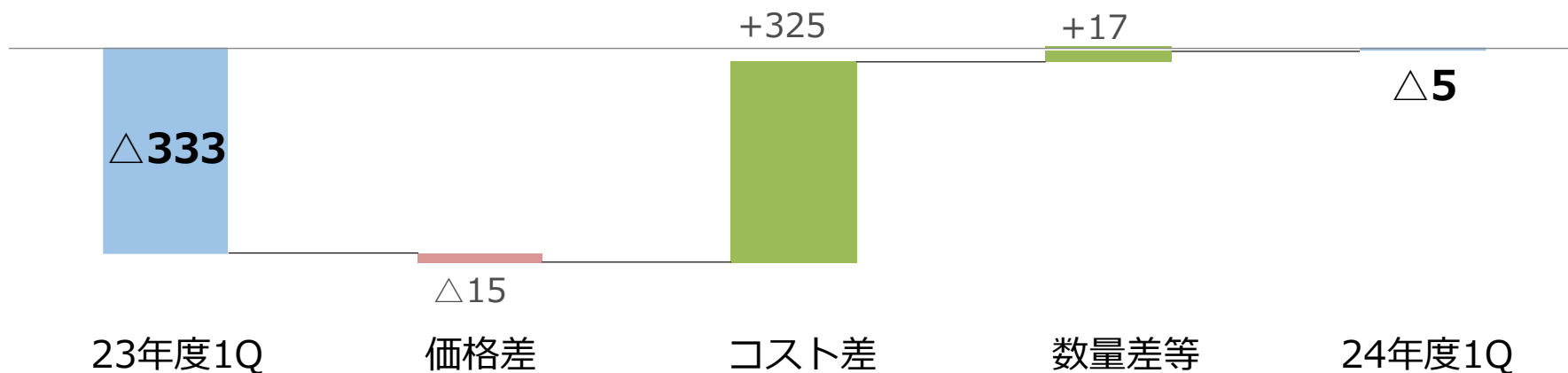
価格差	ディスプレイ	偏光フィルム売価下落
コスト差	半導体	償却費の増加等
数量差等	ディスプレイ	偏光フィルム、タッチセンサー等出荷増加
	半導体	高純度ケミカルやフォトレジストの需要回復

24年度第1四半期コア営業損益 50億円 (前年同期比+120億円)



価格差	メチオニン	市況の上昇により交易条件が改善
	農薬	南米等で売価下落
コスト差	メチオニン	償却費負担の軽減
数量差等	農薬	出荷増加

24年度第1四半期コア営業損益  $\Delta 5$  億円 (前年同期比+327億円)



価格差	日本国内における薬価改定の影響により売価が下落
コスト差	北米再編・合理化による固定費削減
数量差等	基幹3製品の拡販

# 連結財政状態計算書

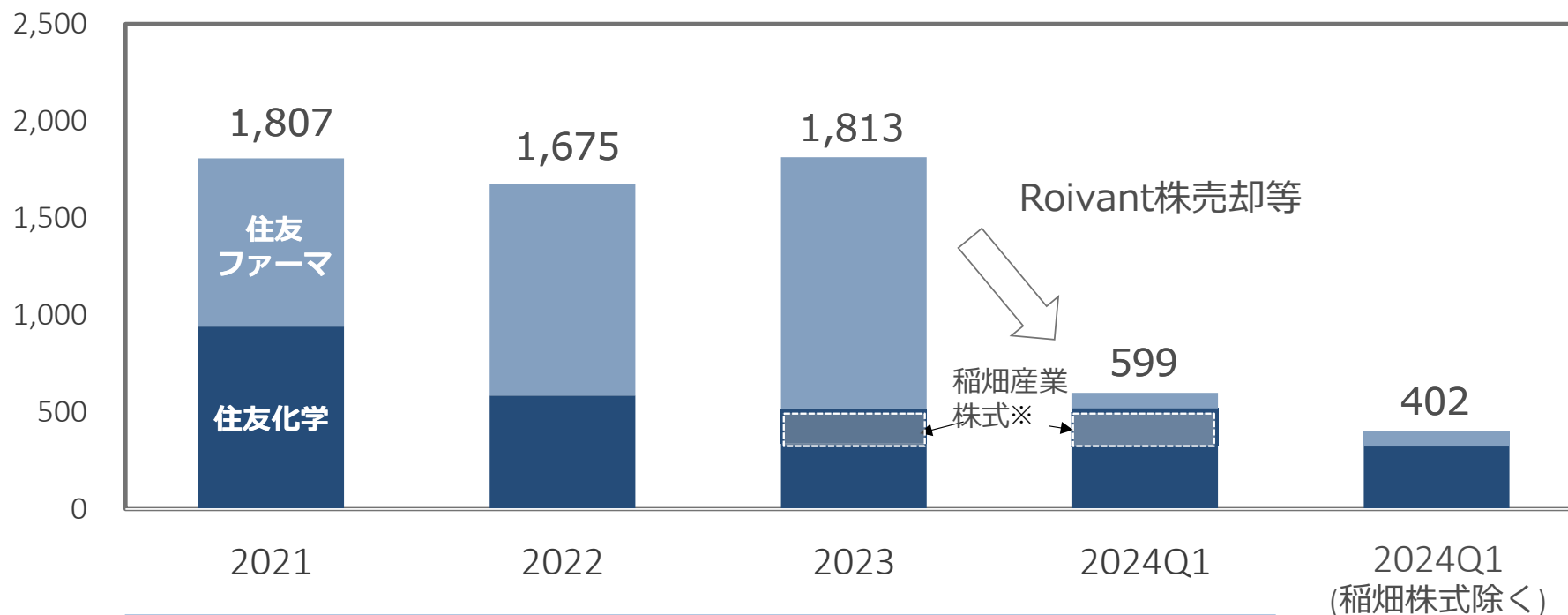
単位:億円

	24.3月末	24.6月末	増減		24.3月末	24.6月末	増減
流動資産	16,759	<b>17,635</b>	876	負債	27,705	<b>27,228</b>	△476
現金及び現金同等物	2,174	<b>2,343</b>	168	営業債務及びその他の債務	5,434	<b>5,643</b>	210
営業債権及びその他の債権	6,200	<b>6,046</b>	△154	有利子負債	15,635	<b>15,187</b>	△448
棚卸資産	7,096	<b>7,609</b>	513	その他	6,636	<b>6,398</b>	△238
その他	1,288	<b>1,638</b>	350	資本	11,644	<b>12,269</b>	626
非流動資産	22,589	<b>21,862</b>	△727	株主資本	6,600	<b>7,064</b>	465
有形固定資産	7,965	<b>8,199</b>	234	その他の資本の構成要素	3,058	<b>3,165</b>	108
のれん及び無形資産	5,367	<b>5,615</b>	248	非支配持分	1,986	<b>2,039</b>	53
その他	9,257	<b>8,048</b>	△1,209				
資産合計	39,348	<b>39,497</b>	149	負債及び資本合計	39,348	<b>39,497</b>	149
				親会社所有者帰属持分比率	24.5%	<b>25.9%</b>	1.4%
				D/Eレシオ(倍)	1.3	<b>1.2</b>	△0.1
				政策保有株式対純資産比率※	15.6%	<b>4.9%</b>	△10.7%

## 政策保有株式の残高推移（当社＋住友ファーマ）

※非上場株式除く

(億円)



対連結純資産  
比率

2021	10.6%	11.2%	15.6%	4.9%
------	-------	-------	-------	------



単位:億円

	23年度1Q	24年度1Q	増減
営業キャッシュ・フロー	△1,319	△ <b>123</b>	1,197
投資キャッシュ・フロー	△134	<b>825</b>	959
フリー・キャッシュ・フロー	△1,454	<b>702</b>	2,156
財務キャッシュ・フロー	1,420	△ <b>630</b>	△2,051
その他	195	<b>69</b>	△126
現金及び現金同等物の増減	162	<b>141</b>	△21
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,231	<b>2,343</b>	△889

## 1Qは 順調なスタート

単位:億円

	2024年度		進捗率
	1Q	年間予想	
売上収益	6,121	26,700	22.9%
コア営業利益	57	1,000	5.7%
営業利益	115	700	16.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	244	200	121.9%

### コア営業利益

年初は赤字スタートを見込んでいたが、情報電子を中心に想定を上回ったため、黒字スタートとなった。

### 親会社の所有者に 帰属する四半期利益

堅調なコア営業利益に加え、想定以上の円安による為替差益の計上によって 年間想定を上回った。

(参考資料)

# セグメント別売上収益 (四半期推移)

単位:億円

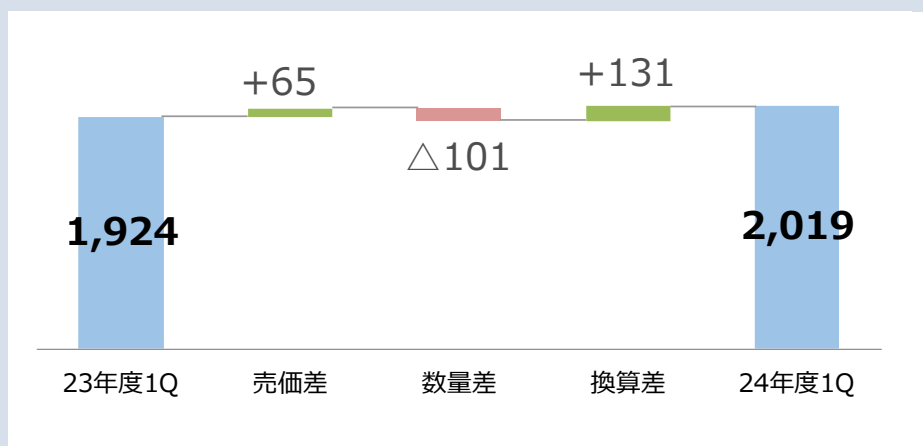
	23年度				24年度	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	年間予想
エッセンシャルケミカルズ	1,924	1,979	2,064	1,773	2,019	9,000
エネルギー・機能材料	734	765	754	749	680	2,900
情報電子化学	945	1,092	1,074	1,031	1,115	4,100
健康・農業関連事業	1,027	1,385	1,258	1,790	1,133	6,100
医薬品	830	839	895	863	979	3,700
その他	173	176	156	194	196	900
合計	5,631	6,237	6,200	6,400	6,121	26,700

# セグメント別コア営業損益 (四半期推移)

単位:億円

	23年度				24年度	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	年間予想
エッセンシャルケミカルズ	△210	△234	△176	△287	△207	△350
エネルギー・機能材料	30	35	29	△15	37	110
情報電子化学	67	112	190	71	185	470
健康・農業関連事業	△70	△5	62	323	50	620
医薬品	△333	△322	△301	△374	△5	30
その他 全社費用等	△19	△16	24	△69	△3	120
合計	△536	△431	△172	△352	57	1,000

## エッセンシャルケミカルズセグメント



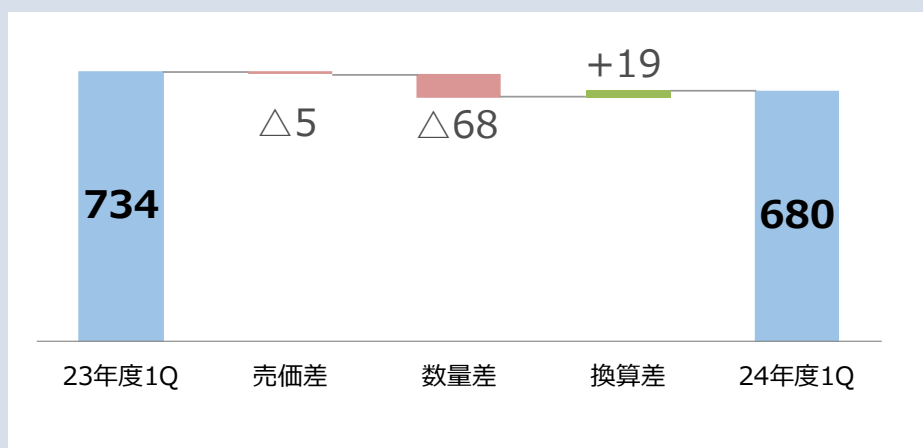
**2,019億円 (前年同期比 +95億円)**

売価差  
+65億円 □ ナフサ・製品市況上昇

数量差  
△101億円

換算差  
+131億円

## エネルギー・機能材料セグメント



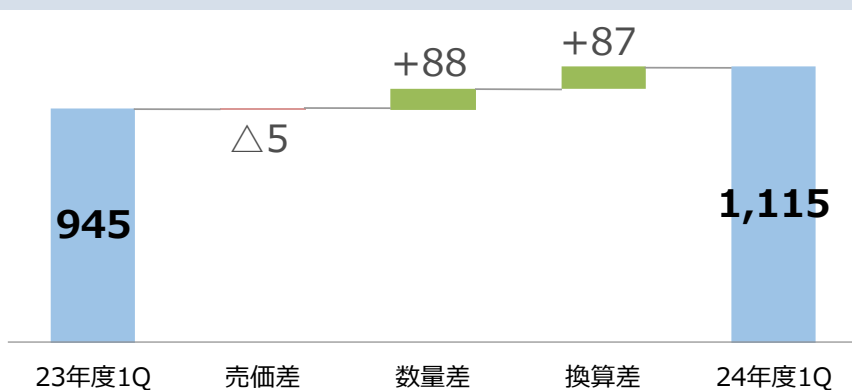
**680億円 (前年同期比△54億円)**

売価差  
△5億円

数量差  
△68億円 □ 一部製品の商流変更・販売終了影響

換算差  
+19億円

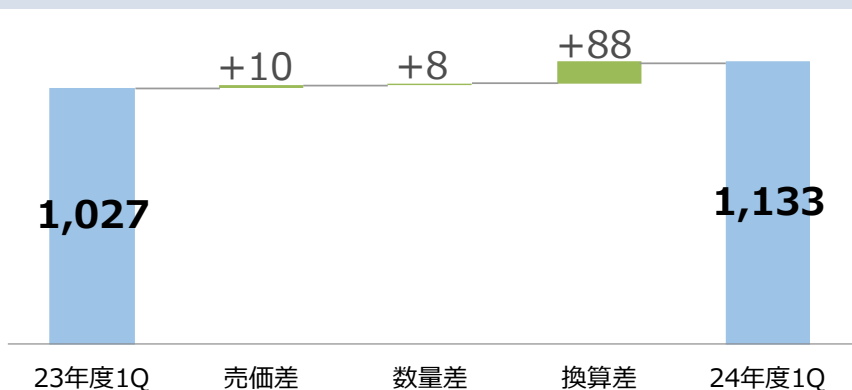
## 情報電子化学セグメント



**1,115億円 (前年同期比 +170億円)**

- 売価差**  
△5億円 □ 偏光フィルム売価下落
- 数量差**  
+88億円 □ ディスプレイ関連材料出荷増加  
□ 半導体プロセス材料需要回復
- 換算差**  
+87億円

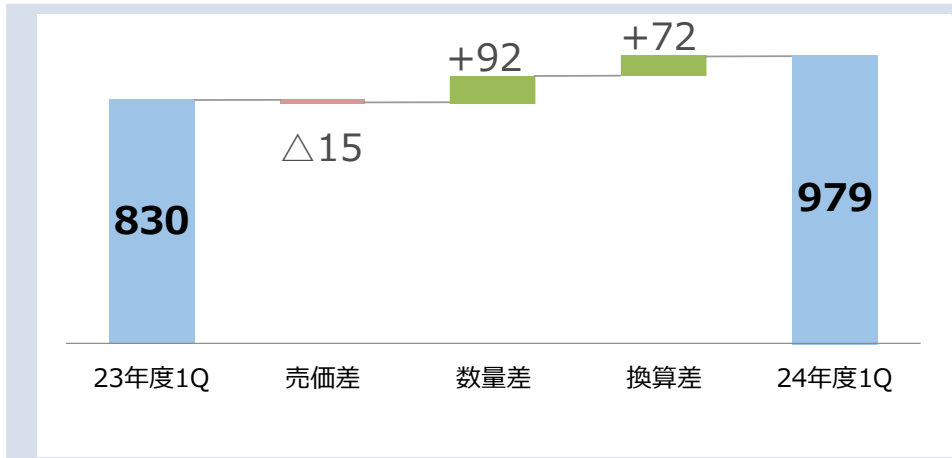
## 健康・農業関連事業セグメント



**1,133億円 (前年同期比 +106億円)**

- 売価差**  
+10億円 □ メチオニン市況上昇  
□ 南米・北米農薬売価下落
- 数量差**  
+8億円 □ 殺虫剤等出荷時期ズレ  
□ インド等における農薬出荷増加
- 換算差**  
+88億円

## 医薬品セグメント



**979億円 (前年同期比 +149億円)**

売価差

△15億円

□ 国内薬価改定

数量差

+92億円

□ 基幹3製品拡販

換算差

+72億円



外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	23年度1Q	24年度1Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	211	<b>215</b>	→ 販売数量増加の一方、交易条件悪化
PCS (百万USD)	583	<b>604</b>	↗ 交易条件改善
ラービグ・リファイニング・アンド・ ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	10,981	<b>7,984</b>	↘ 当期HOFCC装置臨時補修停止の影響 石油精製マージンの低下
東友ファインケム (億KRW)	4,573	<b>5,300</b>	↗ ディ스플레이関連材料販売数量増加による 増益
スミトモ・ケミカル・ブラジル・ インダストリア・キミカ (百万BRL)	586	<b>442</b>	↘ 交易条件悪化
ベーラント・ノースアメリカ (連結ベース) (百万USD)	203	<b>190</b>	↘ 交易条件悪化

# 地域別農薬売上収益

	23年度1Q	24年度1Q	増減	主な差異要因
日本	148	<b>146</b>	△ 2	
北米	155	<b>167</b>	12	
中南米	194	<b>164</b>	△ 30	競争激化による売価下落
アジア (インド含む)	135	<b>170</b>	35	インドでの天候不順解消による出荷数量増加
欧州その他	49	<b>64</b>	15	
合計	681	<b>711</b>	30	